

# かながわの交通

2022  
4月号

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣総理大臣賞)  
～こども部門～ 中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

## とうげこう よそみ おしゃべり きけんがいっぱい



みなとみらい 21 地区

(横浜市西区)



**道路横断には気をつけて!**

高齢歩行者の事故が増えています。

**油断大敵!** 運転者も歩行者もルールを守って  
交通事故防止に努めましょう!

**歩行者  
事故  
多発!**

◎県内の交通事故発生概況(令和4年3月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
令和4年		4,840	28	5,483
令和3年		5,202	29	5,954
増減数		-362	-1	-471
増減率		-7.0%	-3.4%	-7.9%

	総数	男	女
県人口	9,219,037	4,573,111	4,645,926
免許人口	5,640,977	3,206,464	2,434,513
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人



ホームページ

(県人口は令和4年3月1日、免許人口は令和4年2月末現在)

# 「令和4年度 神奈川県交通安全協会事業計画」の概要

## 〔趣 旨〕

公益財団法人神奈川県交通安全協会は、「交通事故のない安全で安心な地域社会の実現」を図るため、県内の交通事故情勢等を踏まえ、県や県警察の指導をいただき、関係機関・団体と協力しながら、地区交通安全協会と連携を密にして重点課題に取り組み、交通安全活動事業を積極的に推進します。

## 〔重 点〕

- (1) 子どもと高齢者を交通事故から守る各種活動の推進
- (2) 自転車の交通事故防止と安全利用の推進
- (3) 二輪車の交通事故防止に資する各種活動の推進
- (4) 飲酒運転等悪質運転・危険運転を根絶する活動の推進



## 〔年間運動等〕

	行 事	予 定 日	場 所
1	春の全国交通安全運動	4月 6日(水)～15日(金)	全国各地
2	交通事故死ゼロを目指す日・シートベルトの日	4月10日(日)	全国各地
3	自転車マナーアップ運動	5月 1日(日)～31日(火)	全国各地
4	自転車交通安全の日	5月 5日(木)	全国各地
5	第52回二輪車安全運転神奈川県大会	5月28日(土)	運転免許センター
6	二輪車交通事故防止運動・暴走族追放運動	6月 1日(水)～30日(木)	県内各地
7	第51回交通安全こども自転車神奈川県大会	6月11日(土)	厚木市荻野運動公園
8	地区事務長会議	6月28日(火)	県協会会館
9	夏の交通事故防止運動	7月11日(月)～20日(水)	県内各地
10	バイクの日	8月19日(金)	全国各地
11	地区会長会議	9月14日(水)	県協会会館
12	秋の全国交通安全運動	9月21日(水)～30日(金)	全国各地
13	交通事故死ゼロを目指す日	9月30日(金)	全国各地
14	自転車安全教育指導員研修会	11月11日(金)	辻堂交通公園
15	自転車安全教育・二輪車安全運転推進委員会	11月18日(金)	県協会会館
16	交通安全功労者表彰式	11月24日(木)	県立音楽堂
17	飲酒運転根絶運動	12月 1日(木)～31日(土)	県内各地
18	年末の交通事故防止運動	12月11日(日)～20日(火)	県内各地
19	交通指導員連絡会議	令和5年2月下旬	県協会会館

## 第36回 理事会の開催について

3月4日(金)午後、県協会会館において第36回理事会を開催しました。

会議は、石坂浩二会長が議長を務め、令和4年度の県交通安全協会事業計画案、予算案、地区協会に対する助成金配分案等について審議し、議決されました。

その後、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況、令和4年度の県交通安全県民運動事業計画、春の全国交通安全運動、二輪車及び自転車の県大会等について報告しました。



### 令和3年度 優良職員表彰

この表彰は、長年にわたり交通安全協会の業務に精励し、効率的な業務運営に貢献した優良職員の方に対して行われるもので、次の方々が受賞されました。

～ 受賞おめでとうございます ～

(敬称略)



◎ 30年勤続表彰(2名)

茨木峰子(横須賀)、  
齊藤弘美(厚木警察署管内)

◎ 20年勤続表彰(1名)

八重樫初代(小田原)

◎ 7年勤続表彰(7名)

小林宣江(緑)、宮内 緑(青葉)、草間リエ子(横須賀)、  
青木緑子(三浦市)、高橋正一(葉山町)、  
渡邊直美(平塚市)、大場順子(津久井)

### 令和4年度 自転車マナーアップ運動

1 実施期間

令和4年5月1日(日)～5月31日(火)の1か月間

2 趣 旨

自転車の関係する交通事故が多発していることから、自転車の交通事故防止、特に自転車利用者のマナーアップと交通安全意識の高揚を図るため、県民運動として家庭・学校・職場・地域で展開します。

特に九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)では、自転車の安全利用を促進する実効性のある共同の取組として、5月中を

『九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間』

として、各種啓発活動等に取り組みます。

3 スローガン

自転車も のれば車の なかまいり

4 重 点

- (1) 自転車交通ルールへの遵守とマナーの向上
- (2) 自転車点検整備の促進と自転車損害賠償責任保険等の加入義務の周知徹底



## 「交通安全活動への取組について」等の紹介

書面会議開催となりました「交通指導員連絡会議」において、意見発表を予定しておりました、金沢、川崎、厚木警察署管内の地区交通安全協会交通指導員の方々による「交通安全活動への取組について」等の要旨についてご紹介します。

### 【金沢交通安全協会：武者 卓 交通指導員】

交通指導員を拝命して5年になりますが、金沢交通安全協会が金沢警察署・金沢区役所をはじめとした行政機関並びに横浜金沢観光協会などの各種団体との密接な連携を図りながら、地域社会の安全な交通環境づくりに貢献していることを知りました。

当協会は交通事故防止対策として特に子供達や高齢者の交通安全教育活動に力を入れて取り組んでいます。

区内の小学校では、通学時の公道の歩き方や自転車の正しい乗り方・自動車の特性など体験指導を交えた「はまっこ交通安全教室」を実施しています。

この活動では、児童のみならず参加した児童の保護者も改めてその重要性を知り、認識を改めるなど意義あるものとなって定着しています。

一方、高齢者には地域の老人クラブなどを中心に、体験型の「シルバー自転車教室」「シルバードライビングスクール」等を実施し、参加者からは運転技量と交通ルールの再確認ができたと感謝されています。

さらに、平成17年から交通事故防止意識の高揚を高めることを目的に、小学生と保護者、高齢者の三世代交流による「金沢区自転車マナーアップ三世代大会」を開催し、優勝した小学生のチームを特訓して県大会に出場させています。

一昨年来、コロナ禍の影響から神奈川県大会・地区大会ともに中止せざるを得ませんでした。児童をはじめ学校関係者の強い要望から昨年、警察・区役所と協議を重ね小学生のみを対象とした「金沢区自転車マナーアップ小学生大会」を実施することができました。参加した児童の笑顔と保護者ならびに学校関係者のホッとした様子が印象的で交通安全教育活動の意義を改めて感じました。

こうした活動のほか、海の公園や八景島といった市内有数の観光地を有する金沢区ならではの「金沢まつり花火大会」「いさいきフェスタ」「海の公園どんと焼き」などの各種イベントにも積極的に参加し、交通安全コーナーを設けて、近隣住民並びにイベント参加者への交通安全啓蒙活動にも注力し、多くの方々から感謝の声が届いております。

日々の活動が、交通事故のない安全で安心して暮らせる地域社会実現の一助となればと思っております。

### 【川崎交通安全協会：池口 吉紀 交通指導員】

私は、川崎交通指導員部会の池口と申します。平成24年4月から交通指導員として活動を始めましたが、現在は指導員部会会長のほか川崎交通安全協会理事及び川崎地域交通安全活動推進委員を兼務しております。

川崎交通安全協会の交通指導員は現在24名で、毎月第1金曜日に町内会館で定例会を開いて、警察署担当者からの指導教養、安全協会からの連絡事項及び各指導員からの意見等の情報交換を行っています。

主な活動については、毎年正月の2、3日に行われます新春恒例の「東京箱根間大学駅伝」で沿道の見学者や歩行者及び車両の整理誘導で1年が始まります。

さらに、日常的な活動は、皆様方と同じように毎月1日、15日の交通安全日における街頭監視をはじめとして、春、夏、秋、年末の交通安全運動では交通安全キャンペーン等に従事しております。

地域交通安全活動の一環として区役所、町内会交通部と協力し、各種イベントへの協力、各神社の夏祭りの神輿や山車の巡幸の交通誘導、事故防止等の安全対策も行っています。

特に、川崎交通指導員部会の活動の特徴として、昭和56年に設立した交通指導員を歴任経験した有志で構成する「川崎交通事故防止研究会」があります。これは、平日の小中学校等における自転車教室の開催にあたり、仕事を持たれている指導員もいることから参加できない欠員を応援する役割を担って頂いており、交通指導員のOBである同研究会は交通安全活動、特に小学校の交通安全自転車教室開催について今では実質中心的な立場で安全教育を行っています。

また、川崎警察署から委嘱の「地域交通安全活動推進委員」を兼務している指導員については「春の全国交通安全運動」を皮切りに「年末の飲酒運転追放運動」等各季に行われる交通安全キャンペーンへの参加等があります。また、新1年生へのランドセルカバー贈呈や入学式当日に学校近くの主だった交差点での交通誘導と交通安全協会協力のもと「交通安全グッズ」の配布をしながら、保護者に対して交通安全の意識向上を図っています。

地域の交通安全の担い手として、これからも色々な立場の方々のご協力を得ながら、交通事故の少ない川崎区にしていきたいと思っておりますので、今後ともご指導を宜しくお願い致します。



【厚木警察署管内交通安全協会：黒崎 正美 交通指導員】

みなさん、こんにちは。厚木地区代表の黒崎です。私は県指導員として25年目に入りましたが、今年で退任させていただくことにしました。厚木市の指導員としては40年近くやらせてもらっています。厚木市の指導員は令和2年当時で153名おり、私はその中で5指に入るほど古いのですが、市交通安全課の職員は私の顔も名前も知らないと思います。

私が地区代表を引き受ける際、周りから「代表は飾りだから引き受けない方がいい」と助言されましたが、裏方的な努力は私の性分に合っていると考え引き受けました。県の指導員としてこれまで数々の思い出がありますが、その中でも特に印象に残っているのは、新入学児童の前で交通指導員の役割について話した後、「実はおまわりさんのような服装をしていますが、本当はラーメン屋のおじさんだ」と素性を話したところ、子供たちから大爆笑されたことが忘れられない思い出となっています。

県指導員は、各季の運動期間中、地区協会の広報車を運転して拡声器から交通安全・交通事故防止を呼びかけています。広報車の運転は、標識をしっかり確認して、制限速度を厳守のうえ安全運転に心掛けねばならないため、私有車両を運転する時よりも肩が凝ります。また、かながわ駅伝大会ではコースの主要拠点において立哨などの交通対策に従事しますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴って駅伝大会は中止が続き、今年から駅伝コースが丹沢湖周遊コースへ変更されたこともあって、県指導員の活動の場が減少しています。

交通安全の取組は、原点に戻って基本に忠実であること、日々の交通誘導・広報活動を根気よくコツコツと地道に進めること、それが交通指導員としての崇高な使命であり、やがては交通安全・交通事故防止という最高で最大の成果につながるものと確信しています。



……二輪車の安全運転講習に参加しませんか……

二輪車事故を防止するため、二輪ライダーを対象とした安全運転講習会を開催します。

令和4年度

- ◎ セーフティ・ライダースクール(SR)
  - ◎ グッドライダーミーティング(GM)
- の講習会を下記のとおり予定しています。

女性を限定とした「レディースデー」を設けています。

バイク運転の初心者、ベテラン、リターンライダーなど多くの方々の参加をお待ちしています。



————— セーフティ・ライダースクール(SR) —————

- 主 催：神奈川県警察
- 協 力：(公財)神奈川県交通安全協会、神奈川県二輪車普及安全協会
- 開 催 場 所：神奈川県警察運転免許センター
- 開催予定日：4/23(土)、5/21(土)、6/18(土)、7/23(土)、9/17(土)、10/22(土)、11/19(土)、12/10(土)の8回 (予備日：1/21、2/18)
- 申込み等詳細は、県警察ホームページをご覧ください。

神奈川県警察 二輪車安全運転講習開催のお知らせ

検 索

————— グッドライダーミーティング(GM) —————

- 主 催：神奈川県二輪車普及安全協会
- 協 力：神奈川県警察、(公財)神奈川県交通安全協会
- 開 催 場 所：神奈川県警察運転免許センター又は厚木中央自動車学校
- 開催予定日：4/16(土)、※7/18(月：祝日)  
☆9/3(土)、※10/10(月：祝日)の4回  
※は、厚木中央自動車学校で開催 ☆は、レディースデー
- 申込み問合わせは、03-6902-8200 (日本二輪車普及安全協会関東ブロック)

## 交通事故の悲劇に学ぶ ⑩

### ●「一生忘れない」 会社員(30代)

私は、ある年の3連休明けの深夜に飲酒をした状態でハンドルを握り、約30キロメートル走行した先の目的地付近において、車道の脇を走行していた自転車に衝突してしまいました。

事故現場は見通しが悪いわけではなく、また、当時雨も降っておらず、私が飲酒したことで運転に集中できなかったことが最大の原因でした。

私は今まで経験したことのない人身事故に気が動転してしまい、この現実を受け入れることができず、一瞬ですが逃げてしまいたいと思いました。しかし、たまに見ていた交通犯罪のテレビ番組では、事故後のわずかな破片やタイヤ痕などからも車種を特定することができるし、事故現場に至るまでの道沿いのコンビニや施設の防犯カメラに逃走車が映っていることから、「ひき逃げ犯は絶対に捕まる、逃げてても無駄だ」と思い直し、現実を受け止めることにしました。私は被害者の救護を行い、事故の発生を警察に通報することで、自分が罪を犯したことを実感しました。

それから間もなく、通報により到着した警察の方に私は逮捕されました。

被害者の方は救護の甲斐もなく亡くなられ、私はこれからどうすればよいのか、何も分からず、ただ、御遺族の方やお世話になった人達に顔向けが出来ないと心底思いました。

特に御遺族の方には、謝罪も不十分で未だに多大な御迷惑をかけています。私は、子供の頃から物分かりが悪く、未然に危険を予測して、失敗を防ぐという力に乏しかったことから、周りの人達には散々迷惑をかけてきたと思います。しかし、こんな私でも心配をして、可愛がってくれる家族や友人がいます。

私は過失運転致死、道路交通法違反の罪により懲役2年の判決を受け、現在服役中の身ですが、私の心の支えとなっている、これらの人達に感謝しています。

服役を終え、出所してからは、これまで迷惑をかけた人達に何が出来るか必死に考えました。その結果、責任を回避することなく、とにかく生きよう、そしてこの事件・事故の責任を一生胸に抱えて生きていこうと決意しました。

私は出所後、御遺族や周りの人達から何を言われても仕方ありません。例え、表面では気を遣って



励ましてくれるかも知れませんが、内心では同情の余地も無いと思われているかもしれません。また、見下されているかもしれません。私は何を言われ、批判されても仕方がない罪を犯してしまったのです。私はそれらの叱責を真正面から受け止め、やり直したいと思っています。

亡くなられた被害者の無念を思えば、まだまだ自分のやっていることは不十分だと思いますし、もっと御遺族に誠心誠意で対応しなければと思っています。

私の犯した罪は重大で、決して許されることはありませんが、これまでの行動を変えることで信頼回復に努め、真面目な人生を歩んでみたいと思っています。

ここで、私からドライバーの皆様には伝えたいことがあります。ハンドルを握る時、皆さんの感情は必ずしも一定ではなく、時には喜怒哀楽の激しい日もあると思います。しかし、どんな時でも冷静さを失わず、この先に危険があるかもしれないといった「かもしれない」運転を心掛けていただきたいと思います。「自分だけは大丈夫」といった安易な気持ちは一切持たず、「もう一度確認する」といった慎重な運転を習慣付けてください。

そして、「事故を起こすかもしれない」というプレッシャーを自分に与えつつ、今日、車に乗れる喜びを感じて運転してください。

最後に、被害者の方、御遺族の皆様、本当に申し訳ございませんでした。私はこの過ちを一生忘れません、一生をかけて償います。

～(一財) 東京都交通安全協会編集発行  
「贖いの日々(第56集)」から～

この人  
192



原田 弘さん  
（一財）多摩交通安全協会  
会長



多摩交通安全協会は、昭和37年4月1日高津警察署登戸警部派出所が独立して稲田警察署が創設されるのに伴い、稲田交通安全協会として発足しました。昭和47年4月1日川崎市が政令指定都市となって管内全域が多摩区となり、警察署の名称が多摩警察署に変わると同時に、多摩交通安全協会となり稲田交通安全協会として発足してから今年60年目となります。

多摩区はかつて、「多摩川梨」の栽培で知られるように緑豊かな多摩丘陵に囲まれた農村地区としての景観を多く残していましたが、都心への交通手段などに恵まれていることもあって、近年大規模な宅地開発などが進み人口も21万人を超えました。

今回は、多摩交通安全協会の法人化創立者でもある会長原田 弘さんを紹介します。

原田会長は栃木県佐野市の出身で、多摩区西生田で金物店を経営する傍ら、昭和50年9月から多摩交通安全協

会生田支部役員として地域の交通安全ボランティア活動に携わり、平成元年6月から多摩交通安全協会理事、平成9年6月に協会副会長となり、平成21年5月の理事会及び総会において、温厚で誠実な人柄が協会員に信頼され満場一致で第8代会長に就任されました。

また、会長は当協会会長のほか、地域交通安全活動推進委員協議会会長、多摩区交通安全対策協議会副会長等に携わり地域のため全身全霊ボランティアに捧げているような人であり、平成24年には永年の功労が認められ、交通栄誉章「緑十字金章」を受賞されております。

会長はかねてよりボランティア活動を続ける理由として、「ボランティアは地域に対する感謝の表れ」とお話をしています。

今後も健康に留意され、多摩区の交通安全推進のためご活躍願いたいと思います。

取材協力：（一財）多摩交通安全協会

こんにちは  
「（一財）平塚市交通安全協会」です

平塚市交通安全協会は、昭和28年4月に発足し、以来69年間平塚市の交通安全活動に力を注いでまいりました。

平塚市には、現在28の支部があり、275名の交通指導員が在籍しており、市内28小学校の通学路に立ち、学童登校時の街頭指導や、平塚市内の新入学児童には平成2年より「こうつうあんぜんあいうえおひょう」をプレゼントしています。

毎月1日の交通安全の日、毎月15日の高齢者交通安全の日、季節ごとの安全運動期

間中は毎朝1時間役員が広報PRを実施し、各季の運動期間中には各支部広報部長が午後1時30分より2時間広報を行っております。

神奈川県は、関東平野に位置しておりますので、どちらの市町でも自転車事故には頭を悩ませていらっしゃるかも知れませんが、平塚は、ことに市内全域が平坦で、自転車に乗りやすい環境にあるため、自転車利用者が特に多い市です。

毎年関係機関と協力して市内の高校全8高校をまわり、自転車マナーアップキャンペーン等を実施しています。

今後も関係機関、交通関係



機関・団体と協力し、連携を密にして、交通安全活動を推進していきたいと考えています。

（渡邊 記）

地区交通安全協会の活動紹介



戸塚 戸塚駅周辺でのハンドルキーパー運動



藤沢北 湘南台駅周辺でのハンドルキーパー運動



厚木警察署管内 清川村立緑小学校での自転車安全教室



海老名市 今泉小学校に交通安全ファイルを贈呈



相模原北 久沢小学校にランドセルカバー・交通安全ファイルを贈呈



青葉 市ケ尾交差点での交通安全キャンペーン

交通安全活動

賛助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- (株) 日産サテオ湘南 ————— 平塚市宮松町
- さがみ信用金庫 ————— 小田原市本町
- 学校法人北里研究所総務部相模原庶務課 ————— 相模原市南区北里

賛助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で快適な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。

インフォメーション

- 九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間 ————— 5 月 中
- 第37回 理事会 ————— 5月18日(水) 県安協会館
- 二輪車安全運転講習 ————— 5月21日(土) 運転免許センター
- 二輪車安全運転神奈川県大会 ————— 5月28日(土) 運転免許センター